

---

フォーミュラ・ニッポン第8戦 RACE Report 2009/09/26 スポーツランド菅生  
土曜日フリー走行

●小暮が SUGO のコースレコードを更新、トップタイムマーク。

前回のオートポリスで7年ぶりのWタイトルを獲得した NAKAJIMA RACING 。2009年フォーミュラ・ニッポンシリーズも今回のスポーツランド菅生で最終戦となり、この SUGO で小暮選手のランキング2位を確保できれば最高の形でシーズンを終えることができる。10:00~11:00 でフリー走行が行われ、天候は晴れ時々曇り、走り始めの気温と路面温度は 22,3℃/30,5℃。ロイック、小暮ともいつもと同じように中古タイヤでコースイン、午後の予選セッションに向け精力的に周回を重ねた。中古タイヤでのベストタイムは小暮が1'07"608のトップタイムをマーク、ロイックも僅差の2番手で続いた。そして、今回から導入されたソフトスペックのニュータイヤでのアタックが始まると小暮が1'06"679のトップタイムでFNでのSUGOコースレコードを更新、(予選ではないので公式ではないが)ロイックも1'07"046の2番手で続いた。前回ラウンドに引き続き2台とも好調をキープして、NAKAJIMA RACING 1-2でセッションが終了した。

●チームディレクター:藤井一三

「今回のラウンドにあたって規則上いろいろとありましたが、2台とも速さキープできております。ここから先も予選に向けて順調に進めていければと思います。」

●31号車ドライバー:ロイック・デュバル タイム:1'07"046(2番手)

「ファーストコーナーでのセッティングがまだ決まってないです。また、今回のタイヤでのセットを含めてセクター1で小暮選手に負けているので、その辺を調整しなければならないですね。」

●32号車ドライバー:小暮卓史 タイム:1'06"679(1番手)

「クルマはとてもいい状態です。ここまではとても順調にきています。あとは予選を旨くまとめてポールを狙います。」